

令和8年度版

島田市議会の概要



議場に使用している木材、家具は島田市の中心部を流れる大井川流域産材を100%使用しています

島田市議会

島田市の位置図



第3次島田市総合計画 前期基本計画より抜粋

◎島田市の位置（市役所）

東経 138度10分45秒

北緯 34度49分59秒

海拔 56.4m

◎島田市の面積

315.70km²

◎島田市の広がり

東西 22km

南北 31km

1 地 勢

島田市は、静岡県ほぼ中央、大井川の中流域に位置している。市の中央部には一級河川大井川が流れ、市域を二分している。

地勢的には概して南北に長く、北部は山地が多い。南部は大井川によって形成された扇状地及び牧之原台地からなっており、面積315.70 k m²（東西約22Km、南北約31Km）と市域では県内で5番目の広さを持つ市である。

交通基盤を見ると、東名高速道路及び新東名高速道路のほか、国道1号島田金谷バイパスの一部区間の4車線化の工事完了、金谷御前崎連絡道路の国道1号島田金谷バイパスまでの延伸により利便性は更に向上した。また、JR東海道本線の駅が3駅整備されていることに加え、大井川鉄道大井川本線も開通している。富士山静岡空港を利用した空路にも恵まれ、国内はもとより海外へつながる交通の結節点として注目されている。

2 歴史・沿革

平成17年5月に旧島田市と旧金谷町の合併、平成20年4月に旧川根町との合併と2度の合併を経て、現在の島田市となった。

当地は「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」と箱根馬子唄にもうたわれたとおり、江戸時代以前、大井川に橋を架けることは許されておらず、川幅約1 k mの大井川の東に島田宿（旧名：嶋田宿）、西に金谷宿、この両宿場町の間を人力で歩いて渡っていた。この大井川川越しとともに発展してきた両宿場町が大井川を挟み、その上流部に茶業や林業で発展し、豊かな自然に囲まれた故郷、旧川根町が位置している。

令和7年は、上述した平成17年5月の合併から20年の節目の年となり、多くの記念事業を予定している。

「越すに越されぬ」は昔のこと。地理的・歴史的にも多くのものを共有してきた1市2町。それぞれの特徴を生かしながら、新しい時代に向けたまちづくりを進めている。



↑ 雄大な富士山、悠久の時を流れる大井川、そして旧幕臣達によって拓かれた茶畑

3 市の概要

(令和8年3月31日現在)

市制施行日		平成17年5月5日	
人口 (外国人を含む。)		93,468人(住民基本台帳)	
世帯数		39,983世帯(住民基本台帳)	
産業構造 (令和2年国勢調査)	第1次	2,868人	5.6%
	第2次	19,032人	36.9%
	第3次	29,609人	57.5%
	計	51,509人	100.0%
都市形態		商工業都市	

4 財政状況(令和8年度当初予算)

(1) 一般会計 〔歳入〕

款別	予算額	構成比率
市税	14,893,167千円	32.6%
地方譲与税	404,200千円	0.9%
利子割交付金	31,000千円	0.1%
配当割交付金	181,000千円	0.4%
株式等譲渡所得割交付金	242,000千円	0.5%
法人事業税交付金	252,000千円	0.6%
地方消費税交付金	2,732,000千円	6.0%
ゴルフ場利用税交付金	17,000千円	0.0%
環境性能割交付金	1千円	0.0%
地方特例交付金	181,621千円	0.4%
地方交付税	7,600,000千円	16.6%
交通安全特別対策交付金	12,000千円	0.0%
分担金及び負担金	124,920千円	0.3%
使用料及び手数料	365,477千円	0.8%
国庫支出金	7,564,609千円	16.5%
県支出金	3,849,232千円	8.4%
財産収入	179,584千円	0.4%
寄附金	1,013,518千円	2.2%
繰入金	2,928,467千円	6.4%
繰越金	450,000千円	1.0%
諸収入	787,504千円	1.7%
市債	1,903,700千円	4.2%
合計	45,713,000千円	100.0%
自主財源	20,742,637千円	45.4%
依存財源	24,970,363千円	54.6%

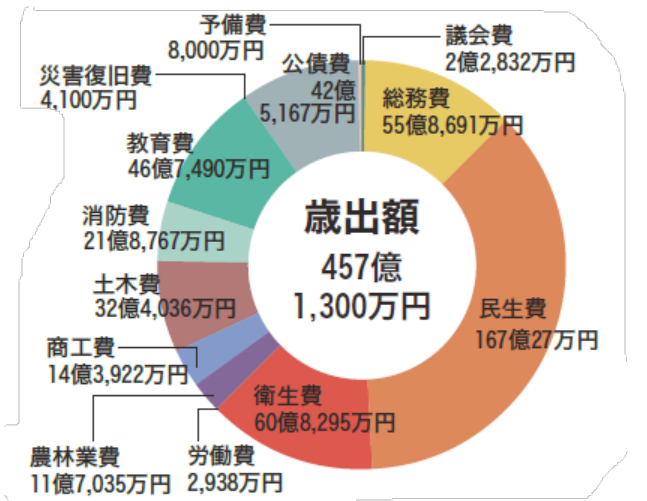
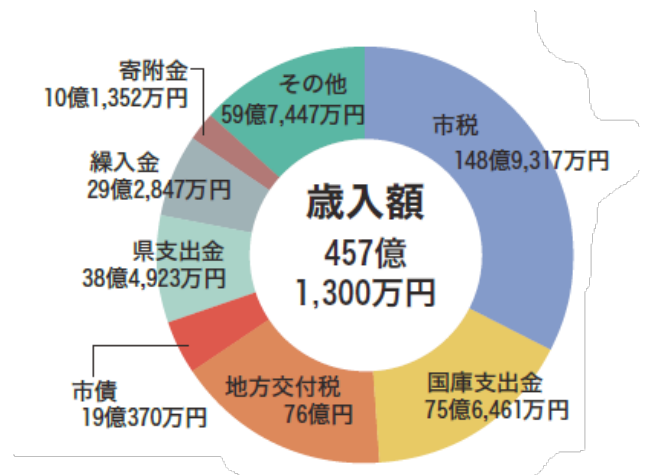
〔歳出〕 款 別	予 算 額	構 成 比 率
議 会 費	228,321千円	0.5%
総 務 費	5,586,913千円	12.2%
民 生 費	16,700,272千円	36.5%
衛 生 費	6,082,950千円	13.3%
労 働 費	28,384千円	0.1%
農 林 業 費	1,170,347千円	2.6%
商 工 費	1,439,220千円	3.1%
土 木 費	3,240,359千円	7.1%
消 防 費	2,187,669千円	4.8%
教 育 費	4,674,895千円	10.2%
災 害 復 旧 費	41,000千円	0.1%
公 債 費	4,251,670千円	9.3%
予 備 費	80,000千円	0.2%
合 計	45,713,000千円	100.0%

(2) 特別会計 会 計 名	予 算 額
国民健康保険事業	8,855,648千円
土地取得事業	895,754千円
休日急患診療事業	19,400千円
介護保険事業	9,529,125千円
介護サービス事業	82,645千円
後期高齢者医療事業	1,877,619千円
合 計	21,260,191千円

(3) 企業会計 会 計 名	予 算 額
水道事業会計	2,225,888千円
病院事業会計	20,157,158千円
公共下水道事業	1,540,783千円
合 計	23,923,829千円

(4) 財政指標 区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基準財政収入額	13,161,599千円	13,354,097千円	13,498,321千円
基準財政需要額	18,993,691千円	19,687,058千円	20,307,720千円
標準財政規模	22,965,825千円	23,409,856千円	23,973,223千円
財政力指数	0.693	0.678	0.665
実質収支比率	5.7%	4.5%	4.4%
実質公債費比率	5.8%	5.8%	5.7%
財政調整基金現在高	5,515,707千円	5,516,114千円	5,518,942千円
地方債現在高	43,098,359千円	43,558,316千円	41,974,445千円

一般会計



5 市議会の概要

条 例 定 数		20人
現 員 数		20人 (男性16人／女性4人)
平 均 年 齢		58歳10カ月 構成：70代5人／60代5人 50代4人／40代5人／30代1人
委 員 定 数	議 会 運 営 委 員 会	7人
	総務生活常任委員会	7人
	厚生教育常任委員会	7人
	経済建設常任委員会	6人
	広報・主権者教育に関する特別委員会 (令和8年6月17日設置)	6人
	予算・決算特別委員会 (令和8年6月3日設置)	19人

6 本会議・常任委員会の開催状況（令和7年度中）

本 会 議	本会議日数	26日
常任委員会	3委員会	27回
	(うち同時開催)	9回
	(うち分散開催)	18回



← 傍聴席及び親子傍聴室



↑ 大型モニターやWi-Fi環境が整備された委員会室

7 議員報酬・市長等の給料・視察研修旅費等

議員報酬	議 長	435,000円
	副議長	390,000円
	委員長	380,000円
	議 員	370,000円
給 料	市 長	870,000円
	副市長	712,000円
	教育長	652,000円
費用弁償		本会議・委員会・全員協議会・議員連絡会への出席に対し、議員の居住地からの距離区分に応じた1日当たりの額
議長交際費		450千円（予算額）
視察旅費	常任委員会	50千円／人（予算額）
	特別委員会	40千円／人（予算額）
	議会運営委員会	50千円／人（予算額）
	海外行政視察	— 千円
政務活動費		1人年額 200千円

8 党派・会派・事務局（令和8年6月30日現在）

党派別議員数 （※）	自 由 民 主 党	1人
	公 明 党	2人
	日 本 共 産 党	2人
	国 民 民 主 党	1人
	無 所 属	14人
会派別議員数	清 流 の 風	7人
	創 造 島 田	2人
	日本共産党島田市議団	2人
	輝 く 島 田	2人
	公明党島田市議会	2人
	会派に属さない議員	5人
議会事務局職員	定 数	10人
	現 員	7人
	事務局長	1人
	次長（総務担当係長兼務）	1人
	主幹（議事調査担当係長兼務）	1人
	総務担当	1人
	議事調査担当	2人
	副主任自動車運転手	1人

※党派別議員数については当選時に提出された書類により確認できたものを計上しています。

9 一般質問・議案質疑・会議録

一 般 質 問	通告制の有無	有	
	個人質問	時間の制限 包括質問 30分以内（発言回数3回まで） 一問一答 50分以内（質問・答弁合わせて、 発言回数の制限なし）	
		質問者数	制限なし ※ただし、会派内で内容の調整をしている
	代表質問	2月定例会で実施 包括質問 40分以内（発言回数3回まで） 一問一答 60分以内（質問・答弁合わせて、 発言回数の制限なし）	
議案質疑		通告制の有無	有
		発言回数	3回以内 （時間制限なし）
会議録の調製		調製方法	反訳から製本まで業者委託 （音声データにより発注）
		速記の有無	無
		作成部数	15部
		配布先	図書館、各地区公民館等
		委員会記録	業者に委託（全文筆記） （音声データにより発注）
		委員長報告の作成	委員長作成

→議長席と一般質問等が行われる演台



←（議案等は貸与パソコンにて閲覧）
本会議中の様子

10 議会広報広聴・主権者教育・議会改革の取組

議会広報紙	発行の有無	有（しまだ議会だより）
	発行部数	34,600部
	発行回数	定例会ごと年4回
	編集委員会	広報・主権者教育に関する特別委員会で編集・発行
	その他	・所管事務調査を踏まえた紙面の段階的なリニューアル ・令和7年度より全号フルカラー印刷にて発行 ・市内高校の生徒の協力により、目の不自由な方のための「声の議会だより」（音訳したCD）を配布
その他 広報広聴	議会ホームページ	平成14年2月～
	議場放映	平成26年6月～
	議会報告会の開催	平成20年5月（試行実施） 平成21年11月～（正式実施）
	政務活動費の公表	平成18年5月～（平成17年度分）
	領収書等のホームページ掲載	平成29年8月～（平成28年度分）
主権者教育	高校生との意見交換会の開催	令和5年9月～
	夏休み親子議場探検ツアー	令和6年8月～
議会改革	島田市議会基本条例の制定	平成21年4月施行
	議員定数の削減	平成20年6月 27人→23人へ 平成25年2月 23人→20人へ
	正副議長になろうとする議員の所信表明会	平成28年5月（試行実施） 平成29年5月～（正式実施）
	予算・決算特別委員会の設置	令和元年6月～ （毎年度提言書を市長へ提出）
	議会BCP対策	・平成28年8月 島田市議会災害対策要領を制定（令和3年2月に感染症対策の内容を追加） ・令和3年10月 感染予防対策としてオンライン会議を実施するため全議員へノートパソコン貸与
	議案等のペーパーレス化	令和5年6月定例会（試行実施） 令和5年11月定例会～（正式実施）
	新議場による議会運営の開始	令和5年11月定例会～ ・ユニバーサルデザインに配慮したフラットな議場動線 ・親子傍聴室の新設 ・議場内ヒアリンググループの設置
	市民参画	・令和6年12月 市議会・議員活動の紹介パンフレット「島田市議会のトリセツ」を作成



↑ リニューアル後の
しまだ議会だより



↑ 高校生との意見交換会の様子



↑ 夏休み親子議場探検ツアーの様子

← 議案審査等の際には、議会から貸与された
小型のノートパソコンを活用



↑ 常任委員会中の様子（委員以外の議員も、大型モニターを通して全委員会を傍聴）

11 市の機構・職員数

(令和8年4月1日現在)

区 分		条例定数	現員数
市長の 事務部局	一 般	649人	510人
	特別会計	48人	49人
	水 道	31人	16人
	下 水 道	15人	10人
議会の事務部局		10人	6人
選挙管理委員会の事務部局		3人	2人
監査委員の事務部局		5人	4人
農業委員会の事務部局		9人	0人（※5人併任）
教育委員会の事務部局		198人	78人
病院事業職員（看護学校含む）		800人	759人
計		1,768人	1,434人
会計年度任用職員（市長部局）		一人	421人
会計年度任用職員（病院）		一人	207人
計		1,768人	2,062人

※現員数は、市長、教育長及び事業管理者並びに再任用職員及び再任用短時間職員を除く。



↑ 令和5年竣工の市役所新庁舎



木材をふんだんに使用した新庁舎内→



令和 8 年度版 島田市議会の概要

令和 8 年 6 月発行

編集・発行 島田市議会事務局

〒427-8501

静岡県島田市中心部 1 番の 1

Tel. 0547 (36) 7205

Fax. 0547 (37) 2212

e-mail gikai@city.shimada.lg.jp